

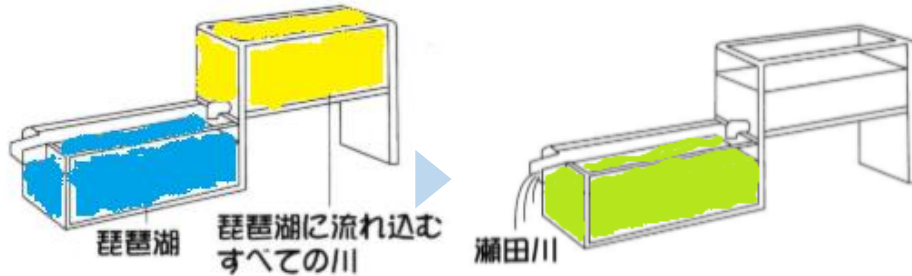
# 水のごれ回復実験

①琵琶湖の水をにごして課題を設定する

②元にもどすのに何年かかるか予想する

③実験の結果をまとめる

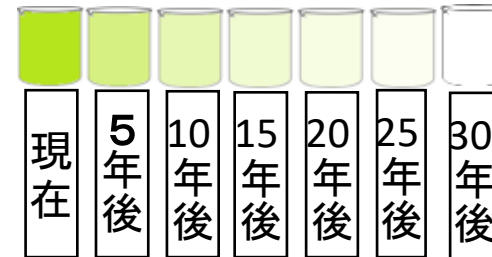
④結果から分かったこと考えたことを交流する



栄養塩を多く含んだ水（黄色色水） 流し込む水（無色透明水）

琵琶湖の水（青色水）

アオコが発生した水（緑色水）



琵琶湖の水量は約275億立方メートル  
 近畿の1450万人の生活水約13年分  
 ↓  
 琵琶湖に流れ込む川約460本から  
 約275億立方メートルの水が流れ込むのに約5年かかる  
 ↓  
 1970年代に琵琶湖に流れ込む排水が増え富栄養化を招く  
 ↓  
 琵琶湖の水を元にもどすには何年かかるのか予想する

**問題** 琵琶湖の水を元にもどすには何年かかるか。

**予想** 5年～、元にもどらない

**結果** 30年以上かかる。元にはもどらない。

**考察**

一度よごした水を元にもどすには長い年月がかかる。  
 二度と元にはもどらない。また、流れ込む水がよごれて  
 いると水は回復しない。

**まとめ** よごれた水を流さない 水を無駄遣いしない  
**つながり** プランクトン 石けん運動 ヨシの浄化作用等

# 水のよごれ回復実験

可動式折り畳み机に実験装置を設置し、バケツにくんだ水を水槽上部から流し込む



ビーカー

2層水槽

水を受けるバケツ



## 実験セットカゴの中

- 組立水槽・・・2
- ゴム水栓・・・1
- ビーカー大・・・7
- ビーカー小・・・2
- スポイト・・・1
- 表示用札・・・7
- テープカット台
- 絵の具（青、黄色）

## 準備物（実験室から）

実験セットカゴ・バケツ6・雑巾・机